

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 福島県立医科大学

(2) 大学名

福島県立医科大学大学院

(3) 大学院の位置

福島県福島市光が丘1番地

(4) 管理運営組織

| 職名 | 認可時 | 変更状況 | 備考 |
|------|---------------------------------|----------------------------------|--------|
| 理事長 | (コウチ ヒデオ) 高地 英夫 (平成18年4月) | (キクチ シンイチ) 菊地 臣一 (平成20年4月) | 退職による⑳ |
| 学長 | (コウチ ヒデオ) 高地 英夫 (平成18年4月) | (キクチ シンイチ) 菊地 臣一 (平成20年4月) | 退職による⑳ |
| 研究科長 | (アベ マサフミ) 阿部 正文 (平成18年4月) | | |

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請研究科等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄にその理由と報告年度(丸数字)を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の研究科・専攻・課程ごとに記入してください。
 2 様式は、平成18年度開設の場合（平成20年度までの3年間）で示していますが、開設年度に合わせて作成してください。また、修業年限が異なる場合には、適宜、欄を調整して作成してください。

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

| 調査対象研究科等の名称(学位) | 認可時の計画 | | | 備考 |
|-------------------------------------|------------|-------------|-------------|-------------------------|
| | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | |
| 医学研究科 医科学専攻(修士課程) 修士(医科学) | 年 2 | 人 10 | 人 20 | 基礎となる学部名等 医学部医学科 |

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

| 区分 | 対象年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平均入学定員超過率 | 備考 |
|----|----------------|----------|----------|--------------|-----------|----|
| | | 人 | 人 | 人 | 倍 | |
| A | 入学定員 | () - | () - | (-) 10 | | |
| | 志願者数 | () - | () - | (8) 11 | | |
| | 受験者数 | () - | () - | (8) 11 | | |
| | 合格者数 | () - | () - | (7) 10 | | |
| B | 入学者数 | () - | () - | (5) 8 | | |
| | 入学定員超過率 B/A | () - | () - | (-) 0.8 | | |

- (注) 1 4月20日現在で記入してください。
 2 ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 3 「平均入学定員超過率」欄には、開設年度から提出年度までの各年度の入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 4 開設2年目以降は、前年度までの記入を残したまま、当該年度に記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

| 区分 | 対象年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 備考 |
|----|------|----------|----------|------------|----|
| | | | | | |
| | 1年次 | [] - | [] - | [-] 8 | |
| | 2年次 | [] - | [] - | [] - | |
| | 3年次 | / | [] - | [] - | |
| | 計 | [] - | [] - | [] - | |

- (注) 1 4月20日現在で記入してください。
 2 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。
 3 開設2年目以降は、前年度までの記入を残したまま、当該年度に記入してください。

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 退学者数 (a) | 入学者数 (b) | 入学者に対する 退学者数の割合 (a/b) |
|----------------|---------------|------------|-----------------------------|
| 平成18年度 | 計 [] | 計 [] | [] % |
| | うち平成17年度入学者 人 | うち平成17年度 人 | |
| | うち平成18年度入学者 人 | うち平成18年度 人 | |
| | (主な退学理由) | | |
| 平成19年度 | 計 [] | 計 [] | [] % |
| | うち平成17年度入学者 人 | うち平成17年度 人 | |
| | うち平成18年度入学者 人 | うち平成18年度 人 | |
| | うち平成19年度入学者 人 | うち平成19年度 人 | |
| (主な退学理由) | | | |
| 平成20年度 | 計 [0] | 計 [0] | [0%] |
| | うち平成17年度入学者 人 | 平成17年度 人 | |
| | うち平成18年度入学者 人 | 平成18年度 人 | |
| | うち平成19年度入学者 人 | 平成19年度 人 | |
| うち平成20年度入学者 0人 | 平成20年度 8人 | | |
| (主な退学理由) | | | |

(注)1 各年度の入学者(編入学者を含む)ごとに退学者数(各報告年度4月20日現在で、前年度までの入学者について)を記入してください。

2 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

3 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

4 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医学研究科 医科学専攻>

(1) 授業科目表

| 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数又は時間数 | | | 専任教員配置 | | | | | 備考 |
|--------------|------|----------|----|----|--------|-----|----|----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| [必修教育科目] | | | | | | | | | | |
| 医科学概論 | 1 | 2 | - | - | 2 | - | - | - | - | |
| 生体構造学 | 1 | 2 | - | - | 2 | - | - | - | - | |
| 生体機能学 | 1 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | - | |
| 病態病理学 | 1 | 2 | - | - | 3 | - | - | - | - | |
| 代謝栄養学 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | |
| 医学研究方法論 | 1 | 4 | - | - | 6 | 1 | - | - | - | |
| 医学医療情報学 | 1 | 1 | - | - | 2 | - | 1 | - | - | |
| 健康医学概論 | 1 | 2 | - | - | 2 | - | 1 | - | - | |
| [専門研究科目] | | | | | | | | | | |
| 地域と環境 | 1・2 | - | 2 | - | 2 | - | 1 | - | - | |
| 食物と栄養 | 1・2 | - | 2 | - | 1 | 1 | - | - | - | 履修希望者がいなかったため⑳ |
| 血液と循環 | 1・2 | - | 2 | - | 2 | - | - | - | - | |
| 免疫と生体防御 | 1・2 | - | 2 | - | 2 | 1 | - | - | - | 履修希望者がいなかったため⑳ |
| 発生と再生 | 1・2 | - | 2 | - | 3 | - | - | - | - | 履修希望者がいなかったため⑳ |
| 脳とこころ | 1・2 | - | 2 | - | 3 | 2 | 1 | - | - | |
| 分子と情報 | 1・2 | - | 2 | - | 2 | 1 | 2 | - | - | 履修希望者がいなかったため⑳ |
| [特別研究科目] | | | | | | | | | | |
| 特別研究（研究指導） | 1・2 | | | | 17 | 6 | 4 | - | - | |
| 特別研究演習（研究指導） | 2 | | | | 17 | 6 | 4 | - | - | |
| [共通必修科目] | | | | | | | | | | |
| 大学院セミナー | 1~2 | | | | 6 | 1 | - | - | - | |

隔年開講

(2) 授業科目数

| 認可時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|----|----|----|------|-------|-----|-------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 11 | 7 | 0 | 18 | 11 | 3 | 0 | 14 | |
| | | | | [] | [△4] | [] | [△4] | |

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|---------|-----|------|-------|--|
| 1 | 食物と栄養 | 2 | 1・2 | 選択 | 隔年開講科目であり、履修希望者がいなかったため、特に代替措置は採っていない。 |
| 2 | 免疫と生体防御 | 2 | 1・2 | 選択 | 〃 |
| 3 | 発生と再生 | 2 | 1・2 | 選択 | 〃 |
| 4 | 分子と情報 | 2 | 1・2 | 選択 | 〃 |

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|----------------|
| 1 | 該当なし | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった4科目については、20年度の履修希望者がいなかったことによるものであるが、いずれの科目も選択であることから、学生への履修への影響はない。
 次年度以降については、他の授業科目も含め、シラバス等により、授業概要等の周知を図っていくこととしている。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.2$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 授業科目すべてについて記入してください。なお、授業科目は当該調査対象研究科・専攻・課程ごとに記入してください。
- 3 認可時の計画を上記2により記入し、変更があったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度を(丸数字)を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、2年目以降に更なる変更があった場合には、前年度の朱書きを黒字に戻した上で、当該年度の変更を朱書きで見え消し修正してください。
 また、授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 | | |
|---------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|------------------|------------------------------|--------------|---|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | うち附属病院 建築面積17,062㎡ 緑地等 | | |
| | 校舎敷地 | 79,666㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 79,666㎡ | | | |
| | 運動場用地 | 33,497㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 33,497㎡ | | | |
| | 小 計 | 113,163㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 113,163㎡ | | | |
| | そ の 他 | 101,073㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 101,073㎡ | | | |
| | 合 計 | 214,237㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 214,237㎡ | | | |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | | | | |
| | (50,351㎡) | (0㎡) | (0㎡) | 50,351㎡ | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 演 習 室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | 大学全体 | | |
| | 17室 | 30室 | 17室 | 4室 (補助職員 1人) | 2室 (補助職員 -人) | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | 室 数 | | | | | |
| | 医学研究科医科学専攻 (M) | | 29 室 | | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の 名称 | 図 書 | 学術雑誌 | 電子ジャーナル | 視聴覚資料 | 機械・器具 | 標 本 | 大学全体 既存学部、既存大学院と 共用。 上段は整備見込み数 |
| | | [うち外国書] | [うち外国書] | | | | | |
| | 冊 | 種 | [うち外国書] | 点 | 点 | 点 | | |
| | 医学研究科 医科学専攻 (M) | 105,000 [21,000] (98,306 [20,616]) | 9,100 [4,200] (8,581 [4,137]) | 1,700 [1,300] (1,209 [1,209]) | 3,700 (1,052) | 30 (29) | 450 (453) | |
| 計 | 105,000 [21,000] (98,306 [20,616]) | 9,100 [4,200] (8,581 [4,137]) | 1,700 [1,300] (1,209 [1,209]) | 3,700 (1,052) | 30 (29) | 450 (453) | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閲 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | 大学全体 | |
| | 3,400㎡ | | 276席 | | 297,560冊 | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | 大学全体 | |
| | 4,437㎡ | | 多目的グラウンド、野球場 (1面)、庭球場 (5面)、洋弓場、和弓場 | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 |
| | | 教員1人当り研究費等 | - 千円 | - 千円 | 図書購入費 | - 千円 | - 千円 | - 千円 |
| | | 共同研究費等 | - 千円 | - 千円 | 設備購入費 | - 千円 | - 千円 | - 千円 |
| | 学生1人当り納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | |
| | | - 千円 | - 千円 | - 千円 | - 千円 | - 千円 | - 千円 | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | - | | | | | | |

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
 4 1により記入の後、変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度(丸数字)を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、2年目以降に更なる変更があった場合には、前年度のものに朱書きを黒字に戻した上で、当該年度の変更を朱書きで見え消し修正してください。
 5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 福島県立医科大学 | | | | | | | | 備考 |
|-----------------------------|----------|------|---------|------|---------|-------|----------------|------------------|--------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | 「開設年度」の下段カッコ内は再編年度 |
| 医学部医学科 | 6年 | 95人 | 年次-人 | 495人 | 学士(医学) | 1.00倍 | 昭和27 | 福島県福島市 光が丘1番地 | |
| 看護学部看護学科 | 4 | 80 | 3 10 | 340 | 学士(看護学) | 1.03 | 平成10 | | |
| 大学院医学研究科 地域医療・加齢医科学専攻(D) | 4 | 7 | - | 28 | 博士(医学) | 0.39 | 昭和36 (平成16) | | |
| 大学院医学研究科 機能制御医科学専攻(D) | 4 | 10 | - | 40 | 博士(医学) | 1.2 | 昭和36 (平成16) | | |
| 大学院医学研究科 神経医科学専攻(D) | 4 | 8 | - | 32 | 博士(医学) | 0.37 | 昭和36 (平成16) | | |
| 大学院医学研究科 分子病態医科学専攻(D) | 4 | 12 | - | 48 | 博士(医学) | 0.72 | 昭和36 (平成16) | | |
| 大学院看護学研究科 看護学専攻(M) | 2 | 15 | - | 30 | 修士(看護学) | 0.93 | 平成14 | | |

(注) 1 学校法人又は地方公共団体(公立大学法人)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を4月20日現在で記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 医科学専攻>

(1) 担当教員表

| 認 可 時 の 計 画 | | | | | 変 更 状 況 | | | | | 備 考 |
|------------------------|--------------|--------------|---------|---|------------------------|----|--------------|--------|---------|-----|
| 専任・ 兼任・ 兼任 の別 | 職名 | 氏 名 (年 齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・ 兼任・ 兼任 の別 | 職名 | 氏 名 (年 齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専 | 教授 | 八木沼 洋行 | 平成20年4月 | 生体構造学 発生と再生 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 和栗 聡 | 平成20年4月 | 生体構造学 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 挾間 章博 | 平成20年4月 | 生体機能学 血液と循環 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 香山 雪彦 | 平成20年4月 | 脳とこころ 特別研究演習 特別研究 大学院セミナー | | | | | | |
| 専 | 教授 | 橋本 康弘 | 平成20年4月 | 代謝栄養学 医学研究方法論 食物と栄養 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 (副学長) | 藤田 禎三 | 平成20年4月 | 病態病理学 医学研究方法論 免疫と生体防御 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 木村 純子 | 平成20年4月 | 血液と循環 特別研究演習 特別研究 大学院セミナー | | | | | | |
| 専 | 教授 | 錫谷 達夫 | 平成20年4月 | 病態病理学 医学研究方法論 免疫と生体防御 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 (研究科長) | 阿部 正文 | 平成20年4月 | 病態病理学 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 福島 哲仁 | 平成20年4月 | 健康医学概論 地域と環境 特別研究演習 特別研究 大学院セミナー | | | | | | |
| 専 | 教授 | 安村 誠司 | 平成20年4月 | 健康医学概論 地域と環境 特別研究演習 特別研究 大学院セミナー | | | | | | |
| 専 | 教授 | 丹羽 真一 | 平成20年4月 | 脳とこころ 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 後藤 満一 | 平成20年4月 | 発生と再生 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|--------|---------|--|--|--|--|--|--|------------|
| 専 | 教授 | 岡田 達也 | 平成20年4月 | 医科学概論 医学医療情報学 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 本間 好 | 平成20年4月 | 医学研究方法論 分子と情報 特別研究演習 特別研究 大学院セミナー | | | | | | |
| 専 | 教授 | 和田 郁夫 | 平成20年4月 | 医科学概論 医学研究方法論 医学医療情報学 分子と情報 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 小林 和人 | 平成20年4月 | 医学研究方法論 発生と再生 脳とこころ 特別研究演習 特別研究 大学院セミナー | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 浄土 英一 | 平成20年4月 | 脳とこころ 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 遠藤 雄一 | 平成20年4月 | 食物と栄養 免疫と生体防御 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 亀岡 弥生 | 平成20年4月 | 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 紺野 慎一 | 平成20年4月 | 脳とこころ 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 初沢 清隆 | 平成20年4月 | 分子と情報 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 片平 清昭 | 平成20年4月 | 医学研究方法論 特別研究演習 特別研究 大学院セミナー | | | | | | |
| 専 | 講師 | 栗崎 恵美子 | 平成20年4月 | 健康医学概論 地域と環境 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 講師 | 安達 隆 | 平成20年4月 | 医学医療情報学 | | | | | | |
| 専 | 講師 | 本間 美和子 | 平成20年4月 | 分子と情報 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 講師 | 燕山 由己人 | 平成20年4月 | 分子と情報 特別研究演習 特別研究 | | | | | | |
| 専 | 講師 | 八十島 安伸 | 平成20年4月 | 脳とこころ 特別研究演習 特別研究 | | | | | | 平成19年9月退職② |
| 兼担 | 教授 | 平岩 幸一 | 平成20年4月 | 健康医学概論 地域と環境 大学院セミナー | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 渡辺 毅 | 平成20年4月 | 食物と栄養 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|--------|---------|------------------|--|--|--|--|--|--|
| 兼担 | 教授 | 上田 和毅 | 平成20年4月 | 発生と再生 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 佐藤 章 | 平成20年4月 | 発生と再生 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 大森 孝一 | 平成20年4月 | 発生と再生 大学院セミナー | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 大戸 齊 | 平成20年4月 | 医科学概論 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 藤野 美都子 | 平成20年4月 | 医科学概論 大学院セミナー | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 落合 威彦 | 平成20年4月 | 医科学概論 発生と再生 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 小林 恒夫 | 平成20年4月 | 医科学概論 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 清水 研明 | 平成20年4月 | 医科学概論 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 志賀 令明 | 平成20年4月 | 健康医学概論 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 亀田 政則 | 平成20年4月 | 医科学概論 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 北條 洋 | 平成20年4月 | 病態病理学 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 福田 俊章 | 平成20年4月 | 医科学概論 発生と再生 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 石橋 敏幸 | 平成20年4月 | 発生と再生 | | | | | | |
| 兼担 | 講師 | 山崎 将生 | 平成20年4月 | 生体機能学 血液と循環 | | | | | | |
| 兼担 | | 勝田 新一郎 | 平成20年4月 | 生体機能学 血液と循環 | | | | | | |
| 兼担 | 講師 | 松本 正人 | 平成20年4月 | 脳とこころ | | | | | | |
| 兼担 | 講師 | 竹内 賢 | 平成20年4月 | 医学医療情報学 | | | | | | |
| 兼担 | 講師 | 末永 恵子 | 平成20年4月 | 医科学概論 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----------|-------|---------|----------------|--|--|--|--|--|--|
| 兼任 | 助教 | 三宅 将生 | 平成20年4月 | 生体機能学 血液と循環 | | | | | | |
| 兼任 | 助教 | 高橋 実 | 平成20年4月 | 免疫と生体防御 | | | | | | |
| 兼任 | 助教 | 岩城 大輔 | 平成20年4月 | 免疫と生体防御 | | | | | | |
| 兼任 | 非常勤 講師 | 島田 睦雄 | 平成20年4月 | 健康医学概論 | | | | | | |
| 兼任 | 非常勤 講師 | 岩崎 祥一 | 平成20年4月 | 健康医学概論 | | | | | | |
| 兼任 | 非常勤 講師 | 菊池 武剋 | 平成20年4月 | 健康医学概論 | | | | | | |

(2) 専任教員数

| 認 可 時 の 計 画 | | | | 変 更 状 況 | | | | 備 考 |
|-------------|----------|------|-------|---------|----------|--------|-------|-----|
| 研究指導教員 | 研究指導補助教員 | 計 | 助 手 | 研究指導教員 | 研究指導補助教員 | 計 | 助 手 | |
| 27 | - | 27 | - | 26 | - | 26 | - | |
| (27) | (-) | (27) | (-) | [Δ1] | [-] | [Δ1] | [-] | |

(3) 専任教員交代の理由

| 番 号 | 職 位 | 専任教員氏名 | 辞任（就任辞退を含む）等の理由 |
|-----|-----|--------|-------------------|
| 1 | 講師 | 八十島 安伸 | 本学退職（平成19年9月）のため。 |

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

代替教員を充てることとしており、履修上は特に影響はない。また、学生に対しては、教員変更後のシラバスを配付することとしている。

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、調査対象学部・学科等（専攻を置く場合には専攻）ごとに授業を担当するすべての教員（助手を除く。）について記入してください。（認可申請書の様式第3号（その1）に準じて作成してください。）
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、「共通」としてください。
- 2 「認可時の計画」欄には、認可時における完成年度までに就任予定の教員（助手を除く。）すべてについて記入してください。
- 3 「変更状況」欄には、変更があった教員についてすべて記入し、「変更状況」の欄には朱書きでの記入とし、「備考」欄にその理由、報告年度（丸数字）を朱書きしてください。
- 4 就任予定年月を過ぎてもなお未就任の者については、「変更状況」欄の「就任年月」欄を朱書きで記入し、「備考」欄にその理由、報告年度（丸数字）、当該教員の担当予定科目についての措置等を記入してください。（記入例参照）
- 5 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 6 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。
- 7 2年目以降に更なる変更があった場合には、異動者について、前年度の朱書きを黒字に戻した上で当該年度の変更を朱書きで追加記入してください。「備考」欄についても同様の記入方法としてください。（例：平成19年4月に就任予定であった〇〇〇教授が就任を辞退したため、平成19年4月から◆◆◆と◇◇◇の2名の兼任講師に変更し、さらに、平成19年10月から●●●専任教授に変更する場合の例。）（記入例参照）
- 8 「専任・兼任・兼任の別」欄については、専任・兼任・兼任の別を専任・兼任・兼任の順に記入してください。
- 9 「職名」の欄には、教授・准教授・講師・助教の別を記載するとともに、専任及び兼任教員については、それぞれの区分の中で、教授・准教授・講師・助教の順に記載してください。
- 10 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、当該年4月1日現在の満年齢を記入してください。
- 11 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等年次計画変更書（AC）」を提出し、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に（ ）書きで記入してください。（記入例参照）
- なお、「専任教員採用等年次計画変更書（AC）」作成要領（c）に該当するものである場合は、「備考」欄にその変更の理由、変更年度（丸数字）等のみを記入してください。
- 12 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、当該年4月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に差し引き数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- 13 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、できるだけ具体的に記入してください。
- 14 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|--------------------------------------|---------|---------|--------------------|
| 認 可 時 (平成19年12月3日) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成20年4月1日) | 該当なし | | |

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、4月20日現在で記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医学研究科 医科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

| 認可時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|--------|-------------------|
| 該当なし | |

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

| |
|---|
| <p>① 実施体制及び実施方法</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本専攻の教員を含めたFDの企画・実施等については、副学長及び医学部長（医学研究科長兼務）をディレクターとしてテーマごとに教員数名を中心としたタスクフォースを構成して取り組んでいる。 今年度は8月30日（土）に、「チュートリアルコース」と「スキルラボコース」の2コースを設け、外部講師を交えながら実施することとしている。</p> <p>b 委員会の開催状況</p> <p>タスクフォースについては、適宜開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FDのあり方等について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容（予定）</p> <ul style="list-style-type: none">・ テュートリアルコース チュートリアルに関する講演（外部講師） シナリオ作成等・ スキルラボコース スキルラボの活用等に関する講演（外部講師） クリニカルスキル教育の立案・シナリオ作成等 <p>b 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>成果を踏まえ、個々の授業改善や専攻全体の教育改善等に組織的に取り組む。</p> |
|---|

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成21年6月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(平成21年6月を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関(独立行政法人 大学評価・学位授与機構)の評価を受けることとしている。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 9月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.fmu.ac.jp>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 9月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.fmu.ac.jp>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(2) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(3) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載します。
なお、未公表の場合には、公表後の取扱いについて記入してください。

(別 紙)

本専攻は、医療の高度化・学術化の傾向を踏まえ、医学以外の専門分野を学んだ多様な知識や発想を持つ人々に集中的に医科学を教授することにより、医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者・教育者と高度な専門職として活躍する人材の育成を目指している。

設置初年度となる今年度は、社会人を含め8名が入学した。前期においては医科学の基礎的な学識や技術を中心に学修を進めるとともに、後期からは、研究指導教員の指導の下に、各大学院学生の希望する研究分野に合わせて専門研究科目を選択し、履修を進めることとしており、全体として、本専攻の目的は着実に達成されつつある。